

栄区地域子育て支援拠点事業
令和2年度重点目標評価結果・令和3年度重点目標

事業実施期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年度目／5か年度)
事業の実施者	社会福祉法人地域サポート虹 栄区こども家庭支援課
事業目的	市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。 【事業・施設運営の基本理念】 1 栄区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和2年度重点目標の評価

令和2年度重点目標①	妊娠期から出産後まで切れ目ない支援につながるよう区と拠点が連携して取組を行います
取組内容	①区と協力し、妊娠中の方とその家族が参加できるプログラムを行い、拠点への来館を促し、産後も継続して利用につながる工夫をする。 ②子育て世代包括支援センターの本格稼働により、区と連携して、妊娠中の相談に応えることで安心して出産できるよう取組を行う。
取組の成果	①・「Welcome!プレママ・プレパパDay」10月と3月に妊娠期の夫婦を対象に開催 内容:赤ちゃんの抱っこ・着替え・沐浴体験(先輩パパのデモンストレーション)、プレパパの妊婦体験、先輩ママパパの体験談と交流 事業を周知するにあたり、母子保健コーディネーターと連携できた。参加者からは、コロナ禍で実習の機会がない中、とても有意義な機会となり、動画で見るだけではわからない赤ちゃんの重みを体感できたし、先輩の話がとても参考になったので、産前から拠点と繋がりたい、という感想があがった。ひろば見学や登録を行い、子育てサポートシステム入会説明会への参加等、拠点との繋がりを持つに至った。 ②・区主催の両親教室で拠点周知を行い、拠点来館に繋げることができた。保育教育コンシェルジュ相談をきっかけに来館した妊婦が先輩ママと交流を行い、0才児対象のプログラムや土曜日の父母対象プログラムに参加したことで産後のイメージができ、出産後は「先輩」として①のプログラムで体験談やアドバイス等を行う役割を担った。

取組の課題	・コロナ禍の中、①のプログラムの定員が5組しか受け付けられず、他のプログラムとの調整ができなかったこともあり、2回のみ開催に留まった。予約開始直後に定員が埋まったことを考えると来年度は定期的な開催が望ましい。
令和2年度重点目標②	拠点の機能を活かし、子育て支援機関団体と連携を深め、栄区の子育て支援力の向上をめざします
取組内容	①地域のサロンや親と子のつどいの広場、区民利用施設等区民ニーズを把握する施設と共催し、課題に沿った支援を行う。 ②子育て支援団体連絡会を開催し、その中で今の子育ての現状を一緒に確認することで連携促進とスキルアップを図る。 ③セーフコミュニティの取組や地域福祉保健計画、栄区児童虐待防止連絡会等の各種会議で今の子育ての現状や課題を共有して、養育者が安全・安心を感じる街づくりをめざす。
取組の成果	①つどいの広場や地域ケアプラザ等と養育者のニーズについて検討し共催事業を行い、課題に沿った支援を行った。 【出張ひろば】 ・おやこのひろば「親子で遊ぼう」11/26 【地域ケアプラザとの共催事業】 ・豊田地域ケアプラザ「生活リズムを整えよう」2/25 ・小菅ケ谷地域ケアプラザ「親子ヨガ」3/9 ②コロナ禍において各団体の取り組みや課題について情報交換を行った。支援者向け研修では、オンライン講座を取り入れる等、栄区の子育て支援者のスキルアップを図った。 子育て支援団体連絡会「情報交換と交流」12/3 【研修会】 a.「思春期の子どもとの向き合い方」9/12 b.「こどものこころとからだの発達」3/15 ③セーフコミュニティの取り組みや地域福祉保健計画、栄区児童虐待防止連絡会等の各種会議に参加し、子育ての現状や課題を共有して、養育者が安全・安心を感じる街づくりの推進に努めた。 また、乳幼児対象のアンケート協力や、地区の課題を共有し地域の居場所立ち上げに向けて協力することができた。 a.子ども自立支援協議会 b.施設交流会 c.さかえっ子の笑顔ひろげ隊 d.こども安全対策分科会 e.栄区地域福祉保健計画策定・推進会議 f.子育て支援者定例会 g.豊田ネットワーク委員会 h.豊田お手伝い隊定例会 i.豊田子育てアンケート会議
取組の課題	・コロナ禍でサロンの休館や人数制限によって地域との連携を深める事が出来なかった。 ・次年度は子育てを取り巻く状況を互いに共有し課題に向けた取り組みをしていく必要がある。

次年度重点目標

令和3年度重点目標①	妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援ができるよう区と拠点が連携して取り組みます
取組内容	区と協力して妊娠期の方とその家族が参加できる取り組みを行い、妊娠期から繋がりを持った方々が後に先輩としてまた妊娠期の方々と関わりを持てるよう継続的な支援を行う。
令和3年度重点目標②	拠点の機能を活かし、地域の子育て支援機関や団体との連携を深め、栄区の子育て支援力の向上に努めます。
取組内容	●区内の子育て支援機関やサロンに出向き、地域の子育て支援関係者とニーズや情報を共有し、課題に沿った支援を行う。 ●拠点から距離のある地域の公園に出向き、遊びを提供することで地域のニーズや情報を収集し、支援に活かせるよう努める。 ●収集した情報を子育て支援団体連絡会で共有し、課題に沿った支援に努める。